

## 広報政策室

## 未来戦略委員会

委員長／嘉堂 聖也 副委員長／本間 税 委員会幹事／海老 憲一

委員／朝倉 友和 澤田 光成 玉森 愛 永濱 貴之 野口 慶太 野村 慎祐

松田 貢典 村口 隼 内海 愛華 山内 裕之 山下 拓郎

1 2015年度未来戦略委員会は、道南と青函が魅力溢れる地域となるような未来を描き、  
2 その方向性をもとに地域ならではの魅力を磨き上げ、地域全体で取り組むことによる発展  
3 の可能性をメンバーに意識付けることで、この青函圏が地域の魅力で発展し、人々の笑顔  
4 で賑わう希望に満ち溢れた明るい未来に繋がるように活動してきました。

5 2月市長例会では、道南の地域像を描く必要性を理解し、具体的な行動に向けて一歩踏  
6 み出して頂けるような意識の向上を目指し構築していきました。函館市長から道南圏だけ  
7 でなくより大きな括りによる広域連携の必要性を示していただいたことで、青函を含めた  
8 協働した取り組みの重要性を感じることができました。また、2市1町の考えをヒアリン  
9 グし発表したことで、他の地域との考え方や取り組みの違いなども比較出来ました。さら  
10 に、委員会の政策提案や函館市長との対談を聞くことで、道南圏の方向性が具体化され、  
11 行動に向けた意識の向上に繋がったと考えます。

12 わんぱく相撲では、子供たちが勝つことの喜び、負ける事の悔しさを感じるだけでなく、  
13 互いを敬い思いやる心など、子供たちの心の豊かさを育むことを目的とし実施いたしました。  
14 事前から学校各所以外にも出向き参加を呼び掛けたことで、前回大会と比較して参加  
15 者が67%増となり、より多くの子供へ本事業の目的を伝えて行くことが出来ました。

16 全国大会八戸大会青函合同ブースでは、新たな青函圏の構築という思想の下、今後に向  
17 け連携が強固なものとなるように、協働して魅力を発信していく意識を高めることを目的  
18 とし実施いたしました。青函の担当委員会が同じ意識の下で互いの知恵や食材を出し合い  
19 ながら作り上げた青函の魅力を提供することで、更なる連携強化に繋がり、今後も共に交  
20 流をしながら魅力を発信していく意識を高めることに繋がりました。

21 10月青函合同例会では、青函連携3カ年の集大成として、これまでの活動を振り返り  
22 ながら、新たな青函の未来を創造し、永続的に連携した活動をしていこうという想いで構  
23 築していきました。北海道新幹線開業を契機として活力ある青函新時代を迎えるために、  
24 当時の担当者から例会を行ってきた想いをお聞きし引継ぎ、今後の未来へ向けて具体的な  
25 行動による地域の活性化イメージを打ち出し、実際に青函圏の魅力を発信している津軽海  
26 峡マグロ女子会様を交えて、地域特性を活かした新たな青函圏の明るい未来を描き共に行  
27 動していくことが必要であると伝えることで、函館・青森のメンバーが協働して活動する  
28 意識を高めることが出来ました。

29 最後に、一年間を通しメンバーに支えられながら運営を行い、例会に於いては目的を達  
30 成すべく、担当者それぞれの力を一致団結させることで、地域の未来に対する想いをメン  
31 ーに強く感じていただくことが出来ました。委員会の取り組む姿勢を感じることで、地  
32 域の未来を想い一致団結して活動する意識が高まり、この道南と青函を地域の魅力で発展  
33 する希望に満ち溢れた明るい未来へ導く契機になったと確信しております。